

索道安全報告書

(平成27年度)

一般財団法人 長野県農協共済福祉事業団

財団法人長野県農協共済福祉事業団の索道事業は、「ホテルアスティくろひめ」で行っています。

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

財団法人長野県農協共済福祉事業団（以下「本事業団」という。）の索道事業基本理念の第一は、安全の確保です。

「安全基本方針」を次のように掲げ、理事長はじめ職員に周知徹底を図っております。

- 1) 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び安全管理規程を理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう求めること。
- 4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は、最も安全と思われる取扱いに努めること。
- 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処理を行うこと。
- 6) 情報は、漏れないよう迅速、正確に伝え透明性を確保すること。
- 7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2)

索道輸送安全目標（3か年計画：平成25年～平成27年）は次のとおりです。

区分	項目	内容
定量的 目標	設備不具合による事故	乗客の死傷事故をともなう事故を発生させない。
	人的障害事故	人身傷害事故は起こさない。

2. 事故等の発生状況と再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成27年度、索道運転事故の発生は1件もありませんでした。なお、過去5年間も索道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成27年度、災害による運転休止はありませんでした。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成27年度、国土交通省へのインシデント報告も含め、ありませんでした。

(4) 平成27年度、国土交通省よりの行政指導はありませんでした。

3. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

本事業団では、輸送やお客様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育を実施しています。

また、今年度も北陸信越索道協会主催の講習会、研修会に出席させました。

(2) リフト乗降場の安全の取り組み

安全を確保するため、初心者等の対応として乗降場に補助係を配置しています。

(3) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン開始前に、運転取扱細則に基づく救助作業要領により、管理者、管理員及び職員一同で、救助訓練を実施しています。

(4) 安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、計画的に施設修繕を行っています。

平成27年度は、シーズン中毎月の保守点検に併せ、リフトメーカーによる専門的な点検を行っています。

リフト降り場の床板材を新しく張替えました。

握索器のサラバネを更新しました。

原動緊張設備、折反設備、支柱を塗装しました。

4. 本事業団の安全管理体制

平成18年10月に「安全管理規程」を制定し、理事長をトップとする安全管理体制を構築して運用しています。

この組織のなかで、「安全統括管理者」「索道技術管理者」「索道技術管理員」それぞれの責務を明確にしたうえで、安全確保のための役割を担っています。

理事長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮を受け、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指導を受け、索道技術管理者の行う業務を補佐する。

5. お客様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- (1) 乗車時は、係員の指示に従ってください。
- (2) 乗り方、降り方に不安のある方は、係員に申し出てください。
- (3) 乗車中は、飛降りたり、搬器を揺らさないでください。
- (4) ウェア、フットルグ-等は、搬器に巻きつかないように注意してください。